

数理科学委員会 IMU 分科会 (第 24 期・第 1 回) 議事録

平成 29 年 11 月 30 日

日 時：平成 29 年 11 月 30 日 (木) 10:00~12:00

会 場：日本学術会議 5 階 5-A (1)

出席者：小澤徹、小島定吉、小藺英雄、清水扇丈、坪井俊、寺尾宏明、平田典子
宮本直子 (事務局)

議事内容

1. 第 24 期 IMU 分科会の委員は、現在 11 名である。委員長と幹事を選出した。
2. IMU の次期人事の情報交換を行った。委員長から、発展途上国の数学の発展に係る委員会委員を推薦したとの報告があった。
3. 次々回の 2022 年の ICM 開催地候補についての情報交換を行った。
4. 次回の 2018 年の ICM 開催地は Rio de Janeiro (7/29-30) であり、IMU 総会は São Paulo (8/1-9) である。委員長から、IMU 国内委員会と日本数学会共催の Japan Forum を開催予定であることが報告された。2018 年 IMU 総会への派遣代表者について議論し、5 名の派遣代表者を決定した。
5. IMU が、3 月 14 日を International Day of Mathematics として制定を目指しており、協力要請があったことが報告された。また、IMU から、参加各国に IMU 国内委員会のウェブサイト立ち上げの要請があり、それについて議論した。
6. (投票を要する議題 3 件)
 - ・ The Mathematical Council of the Americas (アメリカ数学評議会) を IMU の affiliate member になること：賛成
 - ・ Bangladesh が associate member になること：賛成,
 - ・ Brazil が Group IV から Group V に移動すること：賛成
7. (MUA について) 前回の分科会で報告のあった The Mathematical Union of Asia (MUA) 設立について、委員長から現状とこれまでの経緯についての説明があった。

8. 本分科会の特任連携委員（2名）を幹事会に推薦することに決定した。合計すると、今期の IMU 分科会委員は 13 名になる。
9. 本分科会として、ガウス賞・アーベル賞などの有力賞の候補者の推薦を継続的に行っていることが報告された。新たに、ラマヌジャン賞の推薦依頼について議論した。
10. 次回は、平成30年 ICM 総会の前に開催する予定である。

(以上)